

各 位

2020年11月25日  
株式会社リットーミュージック

あの頃、ギター・ヒーローになりたかった  
すべての大人ギタリストへ  
ギター・マガジン・レイドバック第5号



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・マガジン・レイドバック第5号』を、2020年12月14日に発売します。

### レイドバックとは？

ゆったりした、とか、くつろいだ、という意味です。大人のギタリストはもうアクセク弾くのはやめて、ゆっくり楽しくギターを弾こうよという意味が込められています。

### 【企画趣旨】

#### ゆる〜くギターを弾きたい大人ギタリストのための新ギター専門誌第五弾！

古き良き時代にギターを始めた大人世代に向けた新しいギター誌『ギター・マガジン・レイドバック』の第五弾です。誰もが憧れた懐かしのギター・ヒーロー、思い出深い名器、当時コピーに挫折した名演などにスポットを当て、ノスタルジックな目線でもう一度ギターの魅力を探っていきます。現役の親父ギタリストはもちろん、ギターを押し入れにしまってしまった方も、レイドバックした気持ちでもう一度我々と一緒にギターを弾いてみませんか？ セカンド・ライフをギターと楽しく過ごしましょう。

**【CONTENTS】** ※内容は変更になる可能性があります。ご了承下さい。

ギター・マガジン・レイドバック第5号

◎表紙・巻頭インタビュー

白石聖

◎特集

レイドバック世代が選ぶ 20 世紀のギター名盤 100

音楽ストリーミングサービスが普及したこともあり、1 曲単位で好きな曲を聴いたり、好きなアーティストの曲をランダムに聴くことも容易な時代となったが、ギター・マガジン・レイドバック読者世代は「アルバム単位で音楽を堪能する」というスタイルが主体の時代に青春を過ごした。そんなレイドバック世代に贈るギター名盤企画がこの特集。編集部とライター陣、そしてプロ・ギタリスト数十人（すべて 50 代以上）が 10～20 代の頃に聴いて今でも愛してやまない名盤をセレクトした。懐かしむ、改めて聴き直す、知らない名盤を聴いてみる……いろいろな形で読者が楽しめる至極の 100 枚を紹介する。

◎追悼企画

わたしのエディ・ヴァン・ヘイレン

2020 年 10 月 6 日、その生涯の幕を閉じた不世出のギタリスト、エドワード・ヴァン・ヘイレン。高崎晃、松本孝弘、石原慎一郎、広瀬さとし、西山毅、野村義男、森純太、春畑道哉、鈴木健治……レイドバック世代のギタリストがエディを語る追悼アンケート。

◎レイドバック・ルポ

たかが邦題、されど邦題

レイドバック世代が洋楽を聴く時、邦題を思い浮かべる人も多いだろう。世の中には名邦題から迷邦題まで印象的な邦題が数限りなくあり、原題よりも記憶に残っているというケースが多々ある。例えば「哀しみの恋人達」は「哀しみの恋人達」であって、決して「'Cause we've ended as lovers」ではないし、「対自核」は「対自核」であって、「Look at yourself」ではないのである。かくも邦題は我々世代には馴染み深く、ある種“愛でる”といった感覚すらある。いったい邦題とは何なのだろうか。誰がどのようにして考え出しているのだろうか。たかが邦題、されど邦題。そこには深遠なる世界が広がっている。アルファベットをカタカナ表記にただけでは伝わらない大事な何かを含意する「邦題」の魅力を探る。

◎ギター・コレクション

宇崎竜童

ダウン・タウン・ブギ・ウギ・バンドのフロントマンとしてデビューし、その後、山口百恵を始めとする多くのアーティストに楽曲を提供、俳優としても多数の作品に出演する宇崎竜童。その音楽活動を支えるギター・コレクションを紹介。

#### ◎レイドバック・セミナー

今さら聞けないギターの管理法

木製品であり、弦によって大きな力が常にかかるギターは正しい管理を怠れば相応の問題が起ころ。では、どのような管理がベストなのか？ 弦の張力などの力、湿度や温度という環境のふたつの側面に分けてギターの管理法を紹介する。

#### ◎レイドバック・セミナー

Don't think, play bluesy !

ブルージなアドリブを弾くための鉄板メソッド 第2回

誰もが憧れるブルージなギター・プレイ。思い切りブルージにのびのびとアドリブができたら、どんなにカッコいいだろう。往年のブルース・ロックを聴いて育ったレイドバック世代こそ絶対にもものにしよう。

#### ◎レイドバック・セレクション

「ハイウェイ・スター」ディープ・パープル

#### ◎Char 監修・審査のコンテスト開催！

全日本ワウ選手権！

#### ◎好評連載

- ・麗しのギター・アート・ギャラリー
- ・ビンテージ・ギター・カフェ～

1969年製ギブソン・レス・ポール・カスタム※1968年仕様

- ・にっぽんのマスタービルダー紳士録 竹田豊～後編
- ・よっちゃんのギターいじり ism 野村義男
- ・あの頃、ライブ盤でごはん3杯
- ・定年後に聴きたいおニューミュージック
- ・イマ会いに行けるご当地トリビュート・バンド
- ・斉藤和義のずっとギターが作りたかったんだぜ
- ・洋楽ディレクター地獄の回想

他

**【仕様】**

予価：1,500 円＋税

ページ数：144 ページ

判型：菊倍：303×227mm

縦書き 右綴じ 平綴じ

発売日：2020 年 12 月 14 日

**【株式会社リットーミュージック】** <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等の Web サービスも人気です。

**【インプレスグループ】** <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社リットーミュージック 広報担当 吉田（勇）、原見

Tel: 03-6837-4704 / E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)